

第 2 回会社訪問【(株)ヤスダモデル】

8 月 26 日 於 (株)ヤスダモデル

生田産機工業(株) 竹内雄大

8 月 26 日(水)第 2 回会社訪問を(株)ヤスダモデル様にて開催致しました。先輩から若手会員まで 37 名と多くの方にご参加頂きありがとうございました。また今回の会社訪問を快くお受け頂いた安田社長様、誠にありがとうございました。「一真が語る★湿った導火線」とテーマを題して例会を迎えましたが、第 2 回例会が(株)ヤスダモデル様に決まった時から、委員会では幾度も激論が飛び交い、また委員会外でも藤塚委員長と安田さんとの本気の腹を割った熱い語り合いを積み重ね例会を迎えました。

1 部では、工場見学を行い、機青連ではなじみの少ない、カラクリ時計や木型製作に興味を持たれた方も多くおられました。また長年の技術蓄積によるノウハウや技術力が垣間見られた事と思います。

2 部では、「一真が語る」と題して、会社紹介から始まりました。昭和 22 年に祖父が創業され、社長は、2 代目で初代機青連の大先輩である。木工什器の技術を生かした動くディスプレイとして、カラクリ時計を製作され、現会社に大きく成長をとげられました。その中、3 代目として「一真」が祖父の仕事ぶりに憧れ、大学卒業後、(株)ヤスダモデルに入社し4年目、次期社長になる立場であるが、従業員の目線や製造課長との隔たり、製造課長との食事の誘いにも、逃げてしまいうまく人間関係が作れない。社長になる覚悟がつかない。自分自身の不甲斐なさ悔しさとの葛藤と心境を語り、さらけ出してくれました。その中、先輩方、同期仲間の方から沢山の意見を頂きました。多くのキーワードがありました。「育とう育てよう育ち合おうの精神」「プライスレスな機青連活動」「社長になる覚悟」「愛社精神とは」「何のために経営するのか、生きるのか」「誰のために」「社員さん、家族、皆の幸せとは」「謙虚な気持ち、感謝する心」「本気」「人を動かす心とは」など意見が熱くなり、当初は 22 時までの 2 部構成でしたが、生田社長のお声かけから、思いが一気に参加者に飛び火して、最後は江森代表幹事の一言で 3 部に突入し、1 時近くまで 5 時間あまり多くの意見が飛び交いましたが、5 時間では、語りきれず閉会となりましたが、本当に腹を割った思いが皆様に伝わったのではと思います。一部の方は明け方まで熱い語りもありました。今回の会社訪問を通じて、「一真」の心に火が着き、一步ずつよき経営者へなるべく、進んでいくことかと思えます。参加された皆様も、内容には、心を打たれ、胸に染みる思いがあったことでしょう。深く考えさせられることもあった事と思います。長時間に渡り、ご参加頂いた皆様、誠にありがとうございました。

最後に、安田さんからの感想お礼メールの以下に紹介致します。

ヤスダモデル 安田一真です。

8 月 26 日は、私のためにたくさんの方にお越し頂いてありがとうございました。非常にうれしかったです。36 名もの方がお越しくださいました。ありがとうございます。

時間の都合上、23 時で中締めとなりましたが、もっと聞いて頂きたかったこともあり、意見して頂きたかったこともあり、先輩や同期の皆様に真剣に言っていただいたことは「そんなとこまで？」と思うこともあり、今までは腹の中を言うのも聞くのも避けていたこともあり今回のように自分の見られたくない腹の中の中を大勢の方の前で見せたことは当然ありません。聞いて下さった方は私の発言にガッカリされたこともあると思います。しかし言えたことに対しては腹割ってお話し下さいましたし、真剣に当日まで考えましたが「まだまだあかん！」と更に考えさせて頂いています。自分に対しての甘さをより感じましたし、これからの

険しさも教えていただきました。藤塚委員長と夜中まで話しました議題内容ですが、今となっては自分の器の小ささを感じ情けないと思う内容もあります。

緊急ではありましたが、第三部では24名の方が0時半までお付き合い頂き、皆さんに意見して頂いて持論を説けない自分に「悔しい」と思いました。その分自分の未熟さ、レベルの低さなどを感じました。「腹割り」とは、委員会の年間テーマを委員の中で決めるとき私の案ではあったのですが、まさか自分のほうに話が来るとは思いもしませんでした。しかし、今となっては「腹割り」でよかった！こんなに単純なワードですがその中にある力強さを感じ、鋭利で 泥臭くて硬くて、痛いし、デカイし、でも終わったあと、嬉しくて！ありがたくて！もっと聞いてもらいたいし。私はボクシングは競技したことはありませんが、今回は会社訪問のリングで私にセコンドついてもらったり、また僕を本気で殴ったり、でもみなさんは私の眼の奥をじっと見て下さっていたように思いました。

今回の例会で経営者になるための前に進み方を聞かせて頂いたと思います。例会終了後、「自分と悩みがよく似ている」「同じ悩みや！」「がんばりや！一歩ずつでええねんから！」と握手して頂いた方もおられました。私に足りないのは自分の中の「どうしよっかな～」と悩んでいるだけを取り除いて決断する意思を強く持つことやと思います。キセイレンのありがたみを感じ「きれいごと」で終わらせない！キセイレンではいつでも腹割れる仲間がたくさんいて下さって、最高の財産を頂くことができました。

最後に例会を開催にあたりいつも夜中遅くまでお話下さいました、藤塚委員長。私のふ抜けた人生をバサッと切って頂いた辻本さん、岡崎さん。いつも私の後押しをして下さったり、声をかけ励まして下さる竹内さん。委員のミーティングにご参加頂き叱咤激励下さいました江森さん、名高さん、山田さん。私はキセイレンの会社訪問を通じて少しではあったかもしれませんが二か月前より絶対成長出来たと思っています。本当にありがとうございます。藤塚委員長がおっしゃっていました、「安田一真の会社訪問委員会はまだおわってない！これからや！！」私もその気持で昨日を迎えました。ご出席くださいました皆様に「行って（言っ）てよかった！」とだけ思っただけのようにこれからもがんばります！！

本当にありがとうございました！

ヤスタモデル 安田一真

